

令和7年度ネットリサーチ「県政への要望」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 県政への要望について、「地域医療・福祉の充実（医療・福祉人材確保、医療提供体制・地域保健の充実、がん対策等）」が23.0%で最も高く、「雇用の創出（成長分野等の企業の誘致、産業を支える人材の育成・確保等）」が20.4%、「治安対策、交通安全対策」が16.6%と続く。

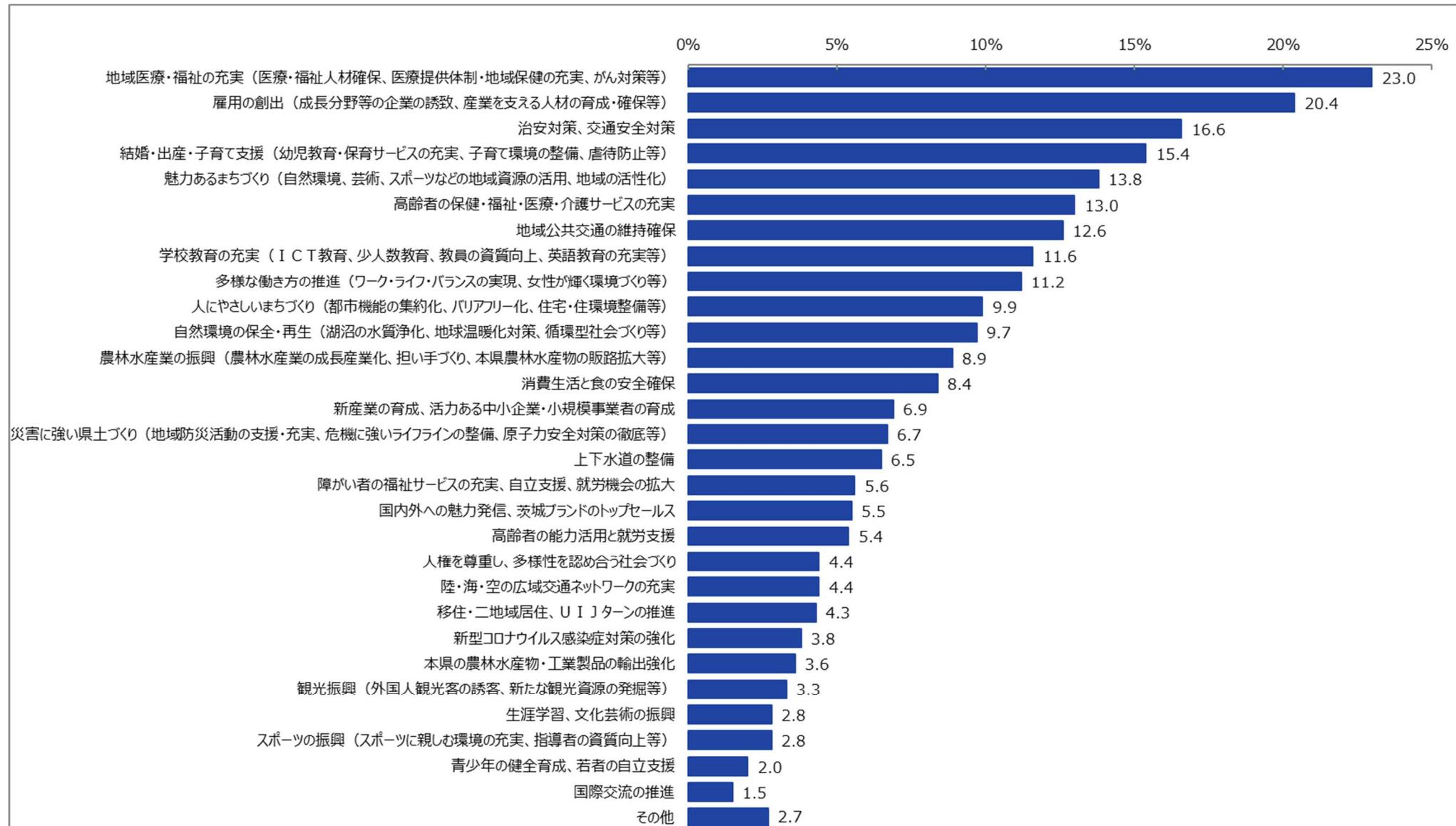
■調査結果の概要

1 県政への要望

Q1.県の行政全般について考えた場合、あなたは、どのような面に力を入れてほしいと思いますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
地域医療・福祉の充実（医療・福祉人材確保、医療提供体制・地域保健の充実、がん対策等）	23.0	230
雇用の創出（成長分野等の企業の誘致、産業を支える人材の育成・確保等）	20.4	204
治安対策、交通安全対策	16.6	166
結婚・出産・子育て支援（幼児教育・保育サービスの充実、子育て環境の整備、虐待防止等）	15.4	154
魅力あるまちづくり（自然環境、芸術、スポーツなどの地域資源の活用、地域の活性化）	13.8	138
高齢者の保健・福祉・医療・介護サービスの充実	13.0	130
地域公共交通の維持確保	12.6	126
学校教育の充実（ICT教育、少人数教育、教員の資質向上、英語教育の充実）	11.6	116
多様な働き方の推進（ワーク・ライフ・バランスの実現、女性が輝く環境づくり等）	11.2	112
人にやさしいまちづくり（都市機能の集約化、バリアフリー化、住宅・住環境整備）	9.9	99
自然環境の保全・再生（湖沼の水質浄化、地球温暖化対策、循環型社会づくり等）	9.7	97
農林水産業の振興（農林水産業の成長産業化、担い手づくり、本県農林水産物の販路拡大等）	8.9	89
消費生活と食の安全確保	8.4	84

新産業の育成、活力ある中小企業・小規模事業者の育成	6.9	69
災害に強い県土づくり（地域防災活動の支援・充実、危機に強いライフラインの整備、原子力安全対策の徹底等）	6.7	67
上下水道の整備	6.5	65
障がい者の福祉サービスの充実、自立支援、就労機会の拡大	5.6	56
国内外への魅力発信、茨城ブランドのトップセールス	5.5	55
高齢者の能力活用と就労支援	5.4	54
人権を尊重し、多様性を認め合う社会づくり	4.4	44
陸・海・空の広域交通ネットワークの充実	4.4	44
移住・二地域居住、U I Jターンの推進	4.3	43
新型コロナウイルス感染症対策の強化	3.8	38
本県の農林水産物・工業製品の輸出強化	3.6	36
観光振興（外国人観光客の誘客、新たな観光資源の発掘等）	3.3	33
生涯学習、文化芸術の振興	2.8	28
スポーツの振興（スポーツに親しむ環境の充実、指導者の資質向上等）	2.8	28
青少年の健全育成、若者の自立支援	2.0	20
国際交流の推進	1.5	15
その他	2.7	27



■調査の目的

県民の生活意識や県政に対する県民の関心、要望などをとらえ、県行政の推進を図るうえで必要な基礎的資料を得るために調査を行う。

■実施概要

- ・実施期間：令和7年11月7日～11月17日
- ・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和7年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		108	248	92	365	187	1,000
性別	男性	56	127	49	189	99	520
	女性	52	121	43	176	88	480
年代別	18～29歳	16	42	16	71	34	179
	30歳代	15	42	16	61	29	163
	40歳代	21	53	19	80	40	213
	50歳代	28	61	21	86	44	240
	60歳代	28	50	20	67	40	205

県 北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県 央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿 行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県 南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県 西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

（注）

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 男性18～29歳の回収件数は、全ての地域で目標値（上記の件数）を下回ったため、男性30歳代で「県北」3サンプル、「県央」4サンプル、「鹿行」3サンプル、「県南」9サンプル、「県西」6サンプルを超過回収し、地域×性年代の人口分布に極力近づくように調整した。